

シリーズ名：医学情報学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.4	木	V	情報リテラシーと医学研究	井上 永介	医学情報学	1. 医学情報の適切な利用について述べるができる。 2. 医学情報、臨床研究、統計学の関わりについて述べるができる。	配布資料を読んでおくこと。
"	"	VI	医学研究の枠組み	上野 隆彦	医学情報学	1. 臨床疑問と研究疑問の違いについて述べるができる。 2. 典型的な研究デザインについて述べるができる。	"
4.11	"	V	医学分野の大規模データ	井上 永介	医学情報学	1. 医学分野の大規模データについて述べるができる。 2. 医学分野における大規模データの利用例について述べるができる。	"
"	"	VI	人工知能	"	"	1. 人工知能の定義を述べるができる。 2. 医学分野における人工知能の利用例について述べるができる。	"
4.18	"	V	標本調査と統計学	上野 隆彦	医学情報学	1. 調査方法について理解する。 2. 標本調査に統計学が必要な理由を説明することができる。	"
"	"	VI	確率分布と統計的推測	"	"	1. 確率分布が必要な理由を説明することができる。 2. 代表的な確率分布を説明することができる。	"
4.25	"	V	仮説検定	"	"	1. 仮説検定の枠組みを説明することができる。 2. t検定の原理を説明することができる。	"
"	"	VI	信頼区間	"	"	1. 信頼区間について説明することができる。 2. 仮説検定と信頼区間の関係を説明することができる。	"
5.9	"	V	多重比較	"	"	1. 多重比較について解説することができる。 2. 多重比較への対処方法を説明することができる。	"
"	"	VI	ノンパラメトリック手法	"	"	1. ノンパラメトリック手法が必要な理由を説明することができる。 2. 代表的なノンパラメトリック手法について解説することができる。	"
5.16	"	V	相関と回帰	"	"	1. 相関係数について解説することができる。 2. 回帰モデルについて解説することができる。	"
"	"	VI	重回帰モデル	"	"	1. 重回帰モデルについて解説することができる。 2. 重回帰モデルで交絡に対処できる理由を解説することができる。	"
5.23	"	V	実習1：記述統計とグラフ	井上 永介 上野 隆彦 高橋 政樹	医学情報学 " "	1. 統計ソフトが必要な理由を述べることができる。 2. 統計ソフトを用いてデータの記述と視覚化を行うことができる。	"
"	"	VI	実習2：仮説検定	"	"	1. 統計ソフトを用いて基本的な検定を行うことができる。 2. 検定の結果を解釈することができる。	"
5.30	"	V	実習3：相関と回帰	"	"	1. 統計ソフトを用いて相関係数と回帰分析を行うことができる。 2. 回帰分析の結果を適切に解釈することができる。	"
"	"	VI	実習4：重回帰モデル	"	"	1. 統計ソフトを用いて重回帰分析を行うことができる。 2. 重回帰分析の結果を解釈することができる。	"

シリーズ名：医学情報学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
6.13	木	V	二値型データの解析	井上 永介	医学情報学	1. 割合と率、相対危険について解説することができる。 2. 分割表の解析方法を述べることができる。	配布資料を読んでおくこと。
"	"	VI	実習5：二値型データの解析	井上 永介 上野 隆彦 高橋 政樹	医学情報学 " "	1. 統計ソフトを用いてカイ二乗検定を行うことができる。 2. 相対危険とカイ二乗検定の結果を解釈することができる。	"
6.20	"	V	ロジスティック回帰モデル	井上 永介	医学情報学	1. ロジスティック回帰モデルが必要な理由を解説することができる。 2. オッズ比の計算方法を説明することができる。	"
"	"	VI	実習6：ロジスティック回帰モデル	井上 永介 上野 隆彦 高橋 政樹	医学情報学 " "	1. 統計ソフトを用いてロジスティック回帰分析を行うことができる。 2. ロジスティック回帰分析の結果を解釈することができる。	"
6.27	"	V	生存時間解析	井上 永介	医学情報学	1. 生存時間データとは何かを説明することができる。 2. 生存時間関数の推測方法を述べることができる。	"
"	"	VI	実習7：生存時間解析	井上 永介 上野 隆彦 高橋 政樹	医学情報学 " "	1. 統計ソフトを用いて生存時間関数を推定することができる。 2. 生存時間関数を適切に読み取ることができる。	"
7.4	"	V	Cox回帰モデル	井上 永介	医学情報学	1. Cox回帰モデルの枠組みについて述べることができる。 2. ハザード比の計算について説明することができる。	"
"	"	VI	実習8：Cox回帰モデル	井上 永介 上野 隆彦 高橋 政樹	医学情報学 " "	1. 統計ソフトを用いてCox回帰分布を行うことができる。 2. Cox回帰分析の結果を解釈することができる。	"
7.11	"	V	医学文献の検索	上野 隆彦	医学情報学	1. 医学文献データベースについて解説することができる。 2. 医学文献データベースの検索方法について解説することができる。	"
"	"	VI	メタアナリシス	"	"	1. メタアナリシスが必要な理由を述べることができる。 2. メタアナリシスの結果を解釈することができる。	"
7.18	"	V	介入研究の批判的吟味	井上 永介	医学情報学	1. 批判的吟味について解説することができる。 2. 介入研究の批判的吟味を行うことができる。	"
"	"	VI	観察研究の批判的吟味	"	"	1. 観察研究の批判的吟味を行うことができる。 2. 研究の限界に関する考察を理解することができる。	"
7.25	"	V	復習1	"	"	講義内容を復習し、医学情報を科学的に吟味することができる。	これまでの配布資料を読んでおくこと。
"	"	VI	復習2	上野 隆彦	医学情報学	講義内容を復習し、批判的に医学情報を考察することができる。	"